

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	3	学校名	仙台市立立町小学校	校長名	川村 美智
------	---	-----	-----------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ
「自然との共生を大切にする児童の育成」



2 取組の紹介

杜の都の中心部に位置し、自然環境に恵まれている立町小学区の特徴を生かして、学習をしています。

(1) 全学年による JRC 活動

冬季を除く毎週木曜日に、福祉委員が中心となり、全校児童でのゴミ拾いや、落ち葉集めを行いました。また、一円募金や使用済み切手集めを毎週金曜日に行いました。



(2) メダカやザリガニの飼育

学校の水槽で、メダカやザリガニの飼育をしています。継続して飼育することで、卵が生まれたり、稚魚が育ったりする様子を見ることができます。子供たちが興味深く水槽を眺める姿が見られました。



(3) 花壇の緑化

保健緑化委員会が中心となって、校内の花壇に花の苗を植えました。全校児童が、季節ごとに色とりどりの植物が咲きそろう姿を楽しみました。



(4) 1・2年 青葉の森の体験 (生活科)

7月と11月に、学区内の身近な自然である青葉の森へ校外学習に出掛けました。夏と秋の森の様子の違いを比べながら森の中の散策を楽しみ、動植物や自然の恵みについて、レンジャー (自然解説員) から指導を受けました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

街中に位置しながらも、比較的広い校庭や、身近に自然を感じられる環境に恵まれた本校の利点を生かし、自然に親しんだり、自然や生き物を大切にしようとする心を育んだりすることができました。また、JRC活動を通し、通行する地域の方々に積極的に挨拶をし、自分たちの地域をきれいにするのに誇りを感じていました。特に、落ち葉の季節は、保護者ボランティアの方の手も借りながら、たくさんの落ち葉を意欲的に集めていました。低学年は、校地内のごみや石拾いをし、高学年の様子を見ながら地域への関わり方を学んでいました。

来年度も自然との共生を大切にする立町っ子を育てていきたいと思ひます。